

令和5年度 ほくぎん若手研究者助成金 研究実績報告書

氏名	所属・職名		助成金額
木村 元	学術研究部教養教育学系・講師		460,000 円
研究課題名	「ESG 投資をめぐるグローバル環境ガバナンス」の環境社会学的研究 —オセアニア地域における現地調査—		
研究の概要	採択者は最近、2つの代表的な社会学理論に基づいて、環境・経済・社会のあいだの相互関係を記述する統合的な理論を構築していた。この社会学理論は、気候変動や ESG 投資をはじめ現代的課題をめぐるダイナミクスの分析を可能とする。そこで、「ESG 投資をめぐるグローバル環境ガバナンス構造」を解明するため、先進的な動向があるにも拘らず他の地域と比較して情報の少ないオセアニア地域を対象に、聞き取り調査をおこなうこととした。また、4年に一度開催の世界社会学会議での口頭発表にて意見交換をおこなうこととした。		
研究の成果	「ESG 投資をめぐるグローバル環境ガバナンス構造」に関わる NGO や実務家を対象として、ニュージーランドにおける4者に対して聞き取り調査をおこなった。その結果、米国や豪州等に次いで世界で5番目に多い1人あたり温室効果ガス排出量をもち、気候変動関連情報の開示を世界で初めて義務付けるなど重要な位置を占める同国に特徴的な言説の背景構造（例えば、文化・歴史との関連）などを明らかにした。併せて、豪州で開催の世界社会学会議での口頭発表2件での意見交換をとおして、本研究を大きく進展させる示唆を得た。本研究は文理融合の方向へも発展しており、その進捗について学会発表・論文執筆した。		
研究成果発表状況	<p>【学会発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「Deadlock in and New Intervention Pathway toward Sustainable Energy Transitions: An analysis on ESG Investment using the Treadmill of Production Model」(口頭発表), <u>Hajime Kimura</u>, XX ISA World Congress of Sociology, June 2023, (豪州・メルボルン) ● 「“Treadmill of Production” and Climate Capitalism as Passive Revolution」(口頭発表), <u>Hajime Kimura</u>, XX ISA World Congress of Sociology, June 2023, (豪州・メルボルン) ● 「Social Change Triggered by NGO’s Intervention in Financial System over ESG Investing: An Analysis Based on Treadmill of Production Model and Ecological Modernization Frame」(口頭発表), <u>Hajime Kimura</u>, 9th International Symposium on Environmental Sociology in East Asia (ISESEA-9), Nov. 2023, 関東学院大学(横浜) ● 「バイオエコノミーを対象としたライフサイクル持続可能性評価(LCSA)の検討 —社会学理論により基礎づけられた LCSA 手法の構築に向けて—」, 木村 元, 第 19 回日本 LCA 学会研究発表会, 2024 年 3 月, 宇都宮大学(宇都宮) <p>【雑誌論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バイオエコノミーを対象とした LCA 関連研究 —社会理論を基盤としたライフサイクル持続可能性評価(LCSA)に向けて—, <u>木村 元</u>, 『富山大学教養教育院紀要』, 2024. 		
経費の執行状況	区分	執行額(円)	備考
	旅費	460,000 円	現地調査および国際学会参加のための旅費(オセアニア地域)